

<ギリシャ・パトモス派遣に参加して>

「神の言葉とイエスのあかしとのゆえに、パトモスという島にいた。」

(黙示録 1 : 9)

皆様のお祈りに支えられ、この度夫婦でチームに参加できたことを感謝いたします。不思議な神様の助けがあり、思いがけない未収の年金が送られて費用も満たされ、旅行に必要な物も不思議と一つ一つ与えられました。派遣中に車酔い、船酔いなどせず、交通機関のトラブルからの守り、また食べ物にも主がみ手を置いてくださり、すべてを消化できるように、重要な時に眠らないように、とお祈りが一つ一つ聞かれ、忘れえない点呼グループのメンバーや食事や飛行機の隣近所に座る方にも御心があり、宣教師との衝撃的な出会いにも神様のみ手を感じました。

行くときに、権威を無視したことによってカバンを忘れたり、財布を置き忘れたり(幸い10円玉が3枚だけ入っていたコイン入れ)切符を買い損ねたりしましたが、その度はっとして悔い改め感謝をして、すべてが何事もなかったかのようにその後はスムーズに運びました。

今回の目的はパトモス島において、神さまの語り掛けを聞くというはっきりしたものでしたから、途中のウーンでの出国や、消耗することは省いてタクシーを使うとか、私たちにあった派遣をさせて頂けたことは、本当に幸いでした。スタッフの方々が気を利かせてくださったことも深い神様のご配慮と、皆様のお祈りがあったからだと感謝しています。

パトモスに着いたのは夜中でしたが、♪約束の場所が 目の前に広がる～♪の賛美が耳もとに聞こえ、翌日ヨハネの洞窟のある山に登って祈りの時を持った時は、よくここまで来ることができた!!と主の御導きに感謝が溢れ、涙がこぼれ落ちました。眼前の景色は、生まれ育った瀬戸内海によく似ているな～と思い、なんだか懐かしいような、ここに住んでもいいような不思議な心地でした。夫は直腸癌、心臓病の重い手術をして、海外宣教に出られるとは思っていませんでしたのに、今回神様が夫婦で来るように導いてくださったことの意味があったことを深く感じました。

宣教が第2段階に入ったこと、それは人の行かない、危険な本格派遣になることがメッセージの中で語られました。命を惜しまない伝道を通して患難時代前半に「数えきれない人々の救い」が起こる為、迫害も殉教も許されてくることを黙示録から解き明かされ(黙示録7:9)、3.11の地震やこれからもっともっと終末の厳しいしるしが起こるこのような時代に、私たちは神様から特別呼ばれ選ばれて、聖霊の力を受けて、神様の語られた言葉に従って、与えられた使命を全うするように導かれていることを教えられました。その為には、いつも語られている基本的な信仰生活、聞き従い、感謝の対応、賛美などの必要を再度教えられ、すべての事は**神の言葉**からなっていることが強調されました。溢れるばかりの恵みを、ブログで、逆転の勝利の中で、シロアムで少しずつ証していきたいと思えます。

 TLCCC FRH

(天に登録されている長子たちの教会)

*Church of the **Firstborn** who are **Registered in Heaven***

主任牧師：イエス・キリスト 牧師：ダニエル大重



ヨハネ 6 : 29

Tel&Fax: 048-689-0048

皆様のお手荷物・貴重品等には十分ご注意下さい。
教会内での紛失や盗難等については一切責任を負いかねます。

主の十字架クリスチャンセンター(TLCCC)

The Lord's Cross Christian Center